

今後の重点的取組について

- ・「特定農業振興ゾーン」
- ・新たな農村施策



奈良県食農部

特定農業振興ゾーン（奈良県独自施策）

- **農地の有効活用・農業の生産性向上**を図る**モデル地区**として設定する「特定農業振興ゾーン」では、各地域が抱える課題や強みを踏まえ、オーダーメイド型で施策を展開
- 平成30年9月に3町5地区を初めて設定し、現在は3市3町9地区まで増加



イチゴ新規就農者への指導

① 広陵町寺戸地区（H30.9設定）



夏秋ナス圃場

④ 田原本町八田地区（H30.9設定）



夏秋ナス圃場

② 広陵町百済川向地区（H30.9設定）



青ネギ
（基盤整備後の作付イメージ）

⑤ 五條市丹原地区（H31.3設定）



新規就農者のイチゴ圃場
（育苗床）

③ 田原本町法貴寺地区（H30.9設定）



有機ホウレンソウ

⑥ 宇陀市伊那佐東部地区（R2.12設定）



イチゴ圃場

⑦ 平群町上庄・梨本地区（R4.3設定）

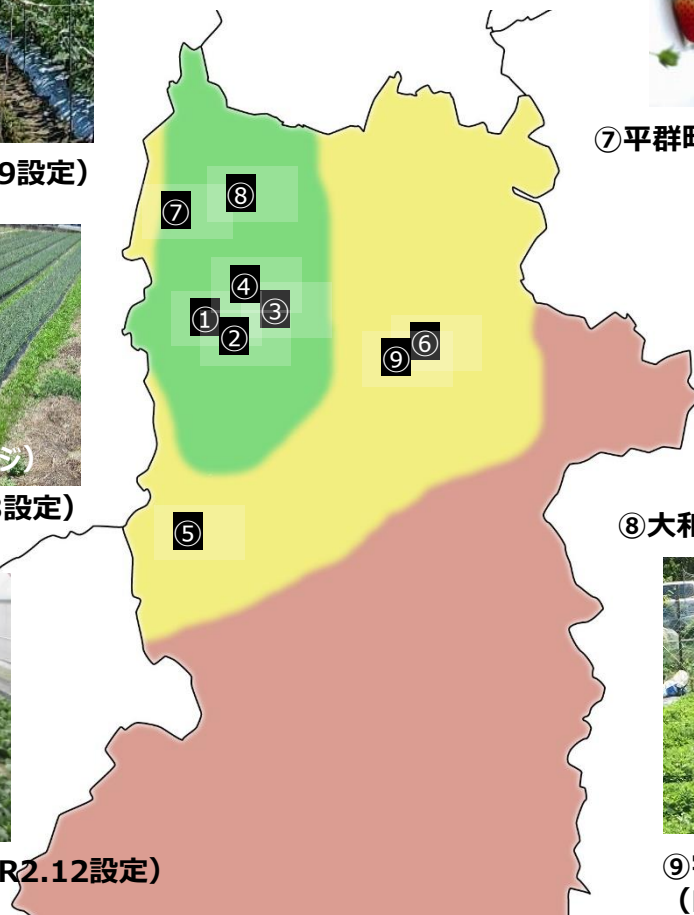


大和丸なす

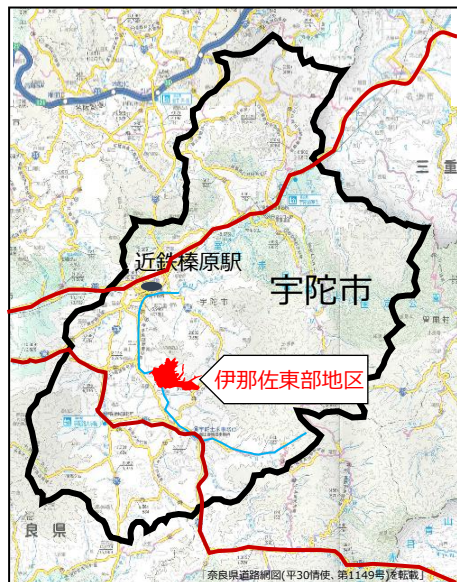
⑧ 大和郡山市三橋地区（R4.3設定）



⑨ 宇陀市大宇陀政始北部地区
（R4.12設定）

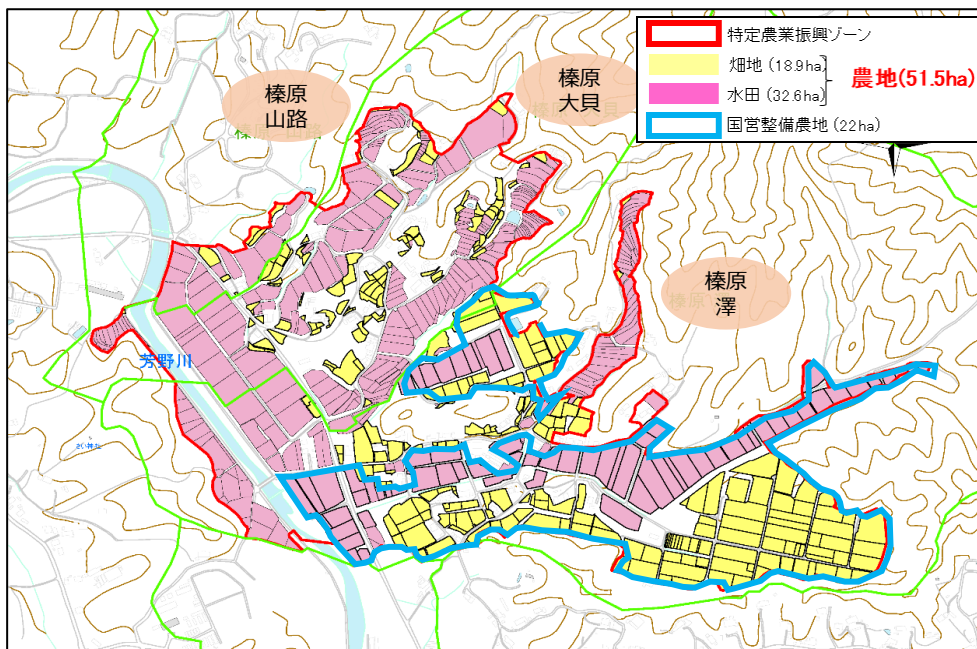


特定農業振興ゾーン「宇陀市伊那佐東部地区」について（R2.12設定）



地域の現状

- 宇陀市榛原澤・大貝・山路を中心とした51.5ha（田32.6ha 畑18.9ha）を対象
国営総合農地開発事業で整備した農地(22ha)を核とした地域
- 水稲の他、ミズナ、ホウレンソウ、コマツナ等の軟弱野菜、有機野菜やダリアも栽培
- 優良な農業法人等、多様な担い手の確保が見込まれる地域



目指す将来像


軟弱野菜や有機野菜等の**高収益作物の生産拡大と品質向上**

- ①大和高原南部土地改良区と連携し、農地中間管理事業による、多様な担い手への農地集積
- ②有機野菜など高収益作物の生産拡大や省力化のための**スマート農業の導入**
- ③これからの地域営農にあわせた、きめ細やかな**基盤整備**を総合的に実施

⇒ **農業産出額の増**

特定農業振興ゾーンの各地区の取組状況（当初5年の整備実施計画実績）

広陵町寺戸（H30.9設定） 対象面積3.4ha

生産額（百万円） H30：12 → R4：20 1.6倍 

① 県・広陵町・地元の主な取組

- ・イチゴの新規就農者の育成
- ・先進技術（環境モニタリング技術）の導入支援
- ・「ストロベリータウン広陵」への参画により町内飲食店へ供給
- ・広陵町ふるさと納税返礼品として利用 等

② 主な成果

- ・新規就農者2名が就農するとともに、既存のイチゴ農家も規模拡大を実現
- ・研修生の受入等で、さらにイチゴの新規就農者の参入が期待



広陵町百済川向（H30.9設定） 対象面積22ha

生産額（百万円） H30：31 → R4：28（※）（目標：45）

① 県・広陵町・地元の主な取組 （※）基盤整備中につき作付面積減


- ・集落営農組織の育成支援
- ・ナスの生産団地化に向け、組織化と新技術導入
- ・農地の区画拡大、暗渠、用水路を整備 等

② 主な成果

- ・地域農業の担い手となる集落営農組織として「百済集落営農組合」を設立（R3）
- ・「広陵町百済ナス生産組合」を設立（R4）
- ・露地ナス栽培において、害虫防除の新技術を導入し、農薬散布や環境負荷への低減を実現



田原本町法貴寺（H30.9設定） 対象面積73ha

生産額（百万円） H30：100 → R4：121 1.2倍 

① 県・田原本町・地元の主な取組


- ・新規就農者の誘致・定着支援
- ・土壌分析・土壌改良による施設野菜の生産性向上に向けた指導
- ・老朽化したパイプラインの整備（自動停止給水栓設置） 等

② 主な成果

- ・地区外からのイチゴ新規就農者2名が参入・定着
- ・水田における畑作利用が継続的・安定的に行うことができるように、パイプライン（水利施設）の整備を実施中



田原本町八田（H30.9設定） 対象面積55ha

生産額（百万円） H30：104 → R4：121 1.2倍 

① 県・田原本町・地元の主な取組

- ・野菜圃場の土壌分析を実施し、施設トマト、露地ナスの排水対策を実証
- ・露地ナス農家へ害虫防除の新技術導入
- ・水門ゲートの整備（電動化による省力化） 等

② 主な成果

- ・地区外のイチゴ農家1名が規模拡大による参入（地区内初のイチゴ高設栽培）
- ・排水対策技術を導入した施設トマトで病害の発生低減効果を実証し、生産性が向上
- ・露地ナス栽培において、害虫防除の新技術を導入し、農薬散布や環境負荷への低減を実現



特定農業振興ゾーンの各地区の取組状況

五條市丹原（H31.3設定） 対象面積12ha

生産額（百万円） R元：15 → R4：5（※）（目標R8：31）

- ① **これまでの取組、進捗**（※）基盤整備中につき作付面積減
 - ・高収益作物(タマネギ・青ネギ・スイートコーン)実証(R4～)
 - ・WCS導入検討（R5～）
 - ・基盤整備の実施（R4～）
 - ・集落営農組合「丹生の里」の法人化（R6.3）
- ② **今後の取組予定**
 - ・新たな担い手の参入支援（R6～）
 - ・基盤整備の実施（R4～R8）



平群町上庄・梨本（R4.3設定） 対象面積20ha

生産額（百万円） R3：143 → R4：148（目標R13：187）

- ① **これまでの取組、進捗**
 - ・整備実施計画策定、協定締結(R4)
 - ・新規就農者1名への支援（R5～）
 - ・農地整備、農業用施設測量設計（R5～）
- ② **今後の取組予定**
 - ・地域活動組織の設置
 - ・農地整備、イチゴ施設整備
 - ・イチゴのスマート農業の実践



大和郡山市三橋（R4.3設定） 対象面積18ha

生産額（百万円） R3：40 → R4：47（目標R9：54）

- ① **これまでの取組、進捗**
 - ・整備実施計画策定、協定締結(R4)
 - ・大和丸ナスの遮熱効果実証(R4～)
 - ・大和丸ナスを量販店でPR(R4～)
 - ・NAFIC生による丸ナス圃場見学会(R5)
- ② **今後の取組予定**
 - ・大和丸ナスの高機能遮熱効果実証
 - ・大和丸ナスの販路拡大に向けたPR（通年）



宇陀市大宇陀政始北部（R4.12設定） 対象面積34ha

生産額（百万円） R4：99.7 → 目標R11：129.7

- ① **これまでの取組、進捗**
 - ・耕作放棄地解消のための新規品目（ヨモギ、トウキ）の検討
 - ・出荷ロス低減方法の検証（長期鮮度保持冷蔵庫の効果実証）
- ② **今後の取組予定**
 - ・耕作放棄地解消のためのヨモギなど有望作物等の栽培実証、生産支援
 - ・農業用排水路、暗渠排水の測量設計



特定農業振興ゾーンの設定の目的、要件、目指す姿

設定の目的

- 特定農業振興ゾーンの農地・農業者に対し、地域で設定した**高収益作物への転換**、その他の**政策を集中的かつ優先的に推進**し、成功事例を創出
- 成功事例を他の地域へ波及させ、農地を有効に活用する地域を増やし、農業の生産性を向上させることで、県農業産出額増加を目指す

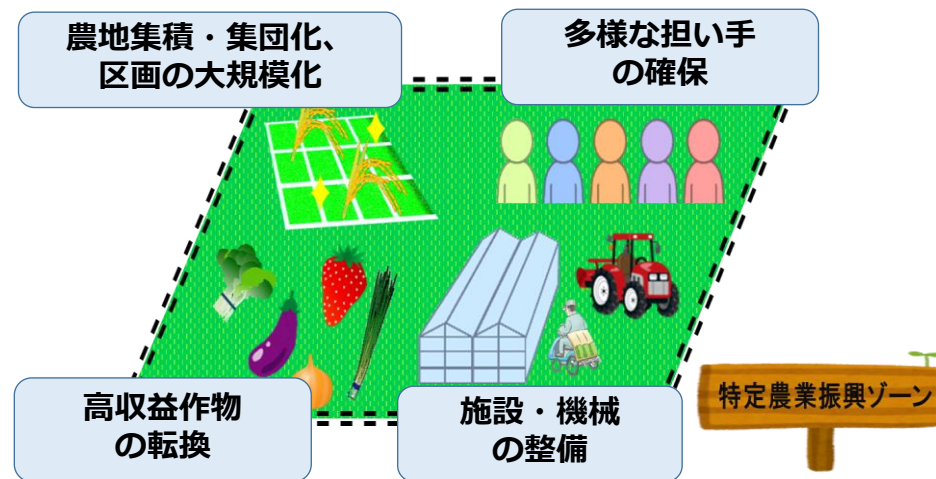
設定の要件

- 地元、市町村、県の合意のもと、地区を設定(**設定計画**)
- 設定地区ごとに**整備実施計画**を策定し、**3者が協働**して施策・事業に取り組む

目指す姿

特定農業振興ゾーンでは、市町村や地元と協働し、下記の農業振興を図るための取組を集中的、優先的に実施

- ・**高収益作物**の導入
- ・**耕作放棄地の発生防止**及び解消
- ・担い手への農地集積による**効率的農地利用**
- ・農地を整備し**効率的な農業**の実現 等



・奈良県食農部担い手・農地マネジメント課
・管轄の各農林(農業)振興事務所

までお問い合わせください

1) 申請主義の土地改良事業からの転換

これまで: 地域の農家からの申請による事業



これから: 県によるエリア設定と一体的な借り上げ
ニーズ調査に基づく耕作者の設定

◆企業参入・ICT・・・食農部として制度設計する仕組みづくり

2) 守る農地の選択

- ・「山へ戻す農地」と「耕作を続ける農地」を線引き
- ・守るための整備